



熱心に説明を聞く受講者

# 平成22年度通常総会・セミナーを開催



山梨県中小企業団体中央会機関誌  
平成22年度中小企業組合活性化情報

定価100円  
昭和36年4月10日  
第三種郵便物認可

8月号

2010年  
第645/220号  
(毎月1日発行)

## 7月の出来事

### ●時 事

- 1日 県内路線価18年連続下落、上昇地点はゼロ
- 4日 ゆうパック遅配
- 11日 スペインがW杯初優勝
- 11日 参院選、自民党が第一党に
- 12日 各地で大雨被害相次ぐ
- 17日 関東甲信地方で梅雨明け

### ●山梨県中央会ニュース

- 6日 事務連絡協議会総会
- 7日 正副会長会議
- 15日 レディース中央会やまなし通常総会
- 29日 労務改善団体連合会総会

## 8月の予定

- 8日～ インターンシップ受入

## 今月の見どころ

- 3面 景況情報、業界の声
- 4～5面 各組合活動紹介
- 5面 ただいま開発中

その他、各種事業案内、施策等々情報を掲載

発行所 山梨県中小企業団体中央会  
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階  
TEL 055(237)3215 FAX 055(237)3216  
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp  
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

## 6次産業化への取り組みについて決議

●山梨県食品産業協議会・山梨県食料産業クラスター協議会

7月21日、かいてらすにおいて、山梨県食品産業協議会及び山梨県食料産業クラスター協議会の通常総会及び同協議会の主催による「山梨県食品産業セミナー」が開催された。

山梨県食品産業協議会（長澤利久会長、**株**はくばく会長）は、昭和63年に、「地域農水産物の利用の高度化を図るとともに、本県食品産業の振興を積極的に推進し、もって一般消費者の食生活の安定向上と本県経済の発展に寄与する」ことを目的に設立された。また、山梨県食料産業クラスター協議会（長澤利久会長）は、平成18年に、「地域の食料、人材、技術等の資源を有効に結びつけ地域に密着した食品産業の振興を図るため、食品産業・農業・関連産業が連携し、加工適正に優れた品種や新たな加工技術の開発・導入、地域食材を活用した新商品の開発等の取組を推進する」ことを目的に設立された。

両協議会の会員は、同一であり、正会員が12団体・企業、賛助会員（準会員）が7団体である。昨年4月、山梨県農政部果樹食品流通課より本会に事務局が移管された。

総会においては、平成21年度の事業報告・収支決算の承認、平成22年度の事業計画・収支予算の決定、会費の額及び徴収方法が原案のとおり可決決定された。また、任期満了に伴う役員改選が行われ、次のとおり決定した。

会長…長澤利久、副会長…矢澤雄児、武田興光、理事…向山公夫、菊原甲子男、志村武彦、佐久間一壽、杉山一美、監事…小宮山光彦、前島善福

総会で決定された今年度の事業概要は次のとおり

### 1 企画運営会議の開催

①本年度の事業計画について

②農商工等連携事業の評価について

### 2 コーディネーター活動支援事業の実施

①コーディネーターの設置

### 3 連携人材育成研修会の開催

①6次産業化への取り組みについて

②6次産業化・農商工連携等への取り組みについて

③6次産業化・農商工連携等への取り組みについて

④6次産業化・農商工連携等への取り組みについて

### 4 先進地調査研修の実施

①新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて

②新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて

③新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて

④新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて

⑤新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて

⑥新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて

⑦新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて

⑧新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて

⑨新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて

⑩新商品の開発販路拡大等に向けた取り組みについて



関東農政局 本郷秀夫課長

の考え方について、農林水産省関東農政局生産経営流通部食品課長の本郷秀夫氏が説明した。その概要は、次のとおり。

6次産業化とは、農業者による生産・加工・販売の一体化や、農業と第二次（加工業）・第三次（流通業）の融合等により、農山漁村に由来する農林水産物、バイオマス、農山漁村の風景、そこに住む人の経験・知恵に至るあらゆる「資源」と、食品産業、観光産業、IT産業等の「産業」とを結び付け、地域ビジネスの展開と新たな産業の創出を促すものである。

生産・加工・販売の一体化、産地の戦略的取組の推進、輸出促進、高収益部門の育成・強化、生産資材費の縮減等を体系的に実施することにより、6次産業化等を推進し、新たな付加価値や人材を創出し、雇用と所得を確保し、若者や子供も農山漁村に定住できる地域社会を実現する。

事例発表は、6次産業化による地域の活性化について、**株**ルミエールの木田茂樹社長、農業生産法人黒富士農場の向山茂徳代表より、各社の取組が説明された。



## 暑中お見舞い申し上げます

平素は本会の事業運営にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年度は、輸出関連の大企業を中心として、一部景気回復が報道されていますが、全般的にはデフレ傾向が続き、消費は盛り上がりえず、小売、サービス業等の内需関連産業は低迷し、消費不況の域からの脱却は、未だならずという状況でした。

このような中、本会は、今年創立五十五周年の節目の年となります。グローバル化が一層伸展し、更に技術革新、少子高齢化、資源・環境問題への対応など、厳しい経済環境が続いておりますが、会員の皆様方におかれましても、あらためて、組合活動の原点である「相互扶助」と「共生・団結」の精神に立ち帰り、積極的な事業活動が展開され、より信頼される組合を構築するためにご健闘されますことをご期待申し上げます。

暑さ厳しい折ですが、ご健康に留意され、ますますの活躍をご祈念申し上げます。



山梨県中小企業団体中央会

会長 内藤 悦次

# 「平成22年度中小企業者に関する

## 国等の契約の方針」のポイント



6月18日、平成22年度の国等の契約方針を閣議決定し発表しました。「国等の契約の方針」とは、中小企業者の受注の機会の増大を図るため、官公需法（「官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律」（昭和41年法律第97号））に基づき、毎年度閣議決定しているもの。平成22年度における国等の契約の方針のポイントは以下のとおりです。

### 1. 中小企業者の受注機会の増大のための主な措置

行政経費節減のため、競争契約や一括発注の要請が強まっており、中小企業者の受注環境は一層厳しい中、中小企業の受注機会の増大を図るため有益な既存の取組（分離・分割発注の推進、同一資格等級区分内での競争、官公需適格組合の活用等）を引き続き進めるとともに、以下の措置を講じる。

#### （1）中小企業者の自助努力への支援強化

中小企業者の官公需に関する個別の相談に対応する体制を作るとともに、官公需情報ポータルサイトの利用を広める。

- ①国の発注機関ごとに「官公需相談窓口」を設置
- ②官公需の仕事探しの相談に応じる「官公需総合相談センター（仮称）」を全国に設置
- ③中小企業支援機関での支援ツールとして、官公需情報ポータルサイトの利用を促進

#### （2）ダンピング防止対策の充実

人件費割合の高い役務契約において、予定価格を大幅に下回る入札が散見され、支払賃金の削減や下請企業へのしわ寄せ、作業品質の低下等が懸念される。このため、過度の低価格入札に対するダンピング防止対策の充実を図るため、低入札価格調査制度の適切な活用を図る。

- ①低入札価格調査において、入札価格内訳書の徴収を徹底
- ②落札者名の公表を徹底し、公正取引委員会、労働基準監督署などの規制当局による監視に繋げる

#### （3）特殊会社に対する努力要請

官公需法に努力義務が定められている地方公共団体に加えて、民営化により官公需法の対象外となった特殊会社に対し、国の取組に準じた努力を所管大臣から要請する。

（注）国100%出資の会社を想定。

### 2. 中小企業者向け契約目標

平成22年度における国等の中小企業者向け契約目標金額：約3兆8,656億円（官公需総予算額に占める割合 56.2%）

（参考：平成21年度の契約実績）

中小企業者向け契約実績額 約4兆1,932億円（官公需総実績額に占める割合：53.1%）

## 消費回復に期待

日経MJが2010年上期のヒット商品番付を発表した。大相撲の番付表を真似てヒット商品を発表するもので、10年上期は東の横綱に該当がなく、西の横綱に「3D」、大関は「スマートフォン」「竜馬」、関脇「iPad」「LED電球」、小結「東京スカイツリー」「ラー油」、以下小結が続く。

日経MJの記事にも「個人消費の伸び悩みを受けて大型ヒットは少なく、東の横綱は空位となった。」とあるとおり、景気がまだ回復していないことが伺われる。

また、小結には「1Q84」「250円牛丼」

ibuki  
息吹

など、わかるものもあるが、中には「コロプラ」「もしドラ」「山スカート」「220ボルト家電」など、名称だけでは理解できないものもランキングされている。調べると、コロプラは「コロニー生活PLUS」の略語で、100万人以上が利用している無料の携帯位置情報ゲームだそう。09年の1年間で利用者数が10倍になったとあり、今も利用者が増加しているとのことである。

あらためて番付表を見ると、3Dにしても映画やテレビ、パソコンへの本格普及はこれからであろうし、LED電球は環境負荷の点から、さらに需要は高まるであろう。220ボルト家電は中国人旅行者向けの日本家電で、売上の拡大が確実視されているなど、今後、消費拡大が望めそうな商品が番付されている。

記事中にも「デジタル機器などで、革新性を武器に購買意欲を刺激する新製品が登場しており、今後の消費の活性化が期待される。」とある。直近の情報では、県内流通業にも売上回復の兆しがあるとのことであり、消費の持ち直しによる景気回復に期待したい。



山梨県中小企業団体中央会  
情報連絡員報告

(平成22年6月分)

本県の6月の景況では、全業種のDI値が、売上高+2 (前年同月比+54)、収益状況-26 (前年同月比+36)、景況感-32 (前年同月比+36)と前年同月比・前月比ともに、全項目でポイントが改善。特に売上高については、2007年(平成19年)3月にDI値+2を報告して以来、3年3ヶ月ぶりにプラスに推移している。業種別のDI値で見ると、製造業は、売上高±0 (前年同月比+65)、収益状況は-20 (前年同月比+55)、景況感-20 (前年同月比+55)と前年同月比でポイントが大幅に改善。前月比では、売上高以外は、横這いであった。

非製造業のDI値は、売上高+3 (前年同月比+47)、収益状況-30 (前年同月比+23)、景況感-40 (前年同月比+23)と、前年同月比・前月比ともにポイントは改善しており、特に売上高のDI値は大幅に改善し、プラスに転じている。

国内の状況は、6月の月例経済報告で、「景気は着実に持ち直してきており、自立的回復への基盤が整いつつある」「企業の業況判断は改善している。」としながらも、「失業率が、高水準にあり、依然として厳しい状況。」「中小企業では先行きに慎重な見方となっている。」と報告されている。

この調査から見る6月の県内の景況は、特に、非製造業における売上高のDI値が、順調に推移したことを受け、業況判断が大きく改善した。先月の報告と比較すると、非製造業の見通しは一変、好転した形となった。

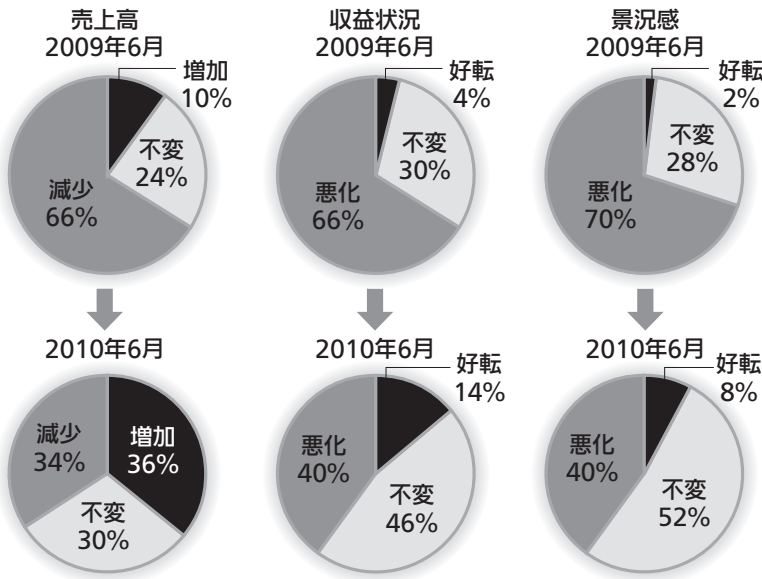
情報連絡員からの6月報告では、依然として厳しい中小企業の現状報告が多数を占めている。一方で、業種によっては、先行きへの明るさが見え始め、回復基調にあるコメントも、若干増えており、経済回復への糸口として繋がるよう、7月以降の業況に期待されるところである。



データから見た

# 業界の動き

データから見た業界の動き (平成22年6月分)



## トピックス

### 業界から一言

6月の調査で実施した政府や国・県などの行政に対する意見要望については、製造業からは「中小企業のための細やかな金融支援の継続をしてほしい」「非製造業からは「小規模、零細企業に対しては、しっかりと資金援助のできる金融機関の仕組みを整えて欲しい」など、金融・資金対策などに関するものと、「長引く不況の中、企業の資金繰りは厳しいため、支払条件などは取引に関する法整備」「中小企業・組合等に対する特別措置の拡充」など法律や制度の整備、拡充などを望む業界の意見・要望があった。

### 製造業

●食料品(水産物加工)／売上の減少傾向に歯止めがなかった感はあるが、リーマンショック以前の状態までにはほど遠い感じ。利益率の高い高額商品は依然として低迷。

●食料品(ワイン)／幸いにも組合では組合員がわずかながら増加している。売上等が大きくは落ち込んでいない現れだが、さらに景況が悪化すると持ちこたえられないと危惧。

●繊維・同製品(織物)／多品種・小ロット・短納期という産地の強みが逆に高コストとなっている。織機等の老朽化が進んでいるが、売上減少、先行き不透明で、設備投資ができず廃業が多くなっている。

●木材・木製品製造／春先(2月～4月)より商品は動いている。しかしプレカットの受注が無く、収益の確保が難しい。

●窯業・土石(砂利)／公共事業に使用する骨材において、河川砂利の評価が上がり、その使用が推奨されている。今後、中部横断工事、リニア工事の進行などによる建設ブームに期待。

●一般機器／仕事量は増加傾向にあるが、価格が低下しているため、採算ベースに乗れず、むしろ減益となり厳しい状況。メーカーの相見積、再見積による価格破壊が要因。

●その他(貴金属)／売上はやや増えたが、地金相場が上がり価格が上昇したため。全体的な仕事量は減少しており、状況が好転したわけではない。

### 非製造業

●小売(食肉)／口蹄疫の影響が、全体的な消費量、売上高、収益率ともに落ち込んだ。今後中元商戦と夏休みのバーベキューに期待したい。

●小売(自動車)／9月末のエコカー補助金打ち切りの影響が受注に始まった。

●小売(電機製品)／例年であれば夏物商品(エアコン)中心に需要が高まるが、相変わらずテレビ中心で推移。その後の需要構造の変化に対応すべく一部では、「オール電化」や「LED関連商品」への取り組みをスタートさせている。

●小売(石油)／ガソリンの需要の落ち込みは、5月の連休以降深刻化しており、又ギリシヤの財政危機からドバイ原油が今年の最安値となったため、県内給油所は2円程度の値下げとなった(ガソリン・軽油・重油・灯油)。7月の各給油所は当面夏場の需要期入りまで現状の価格で推移する見込み。

●宿泊業／宿泊客が減少している中では単価の安い海外団体客も受けなければならぬ。料金は競合でさらに下がっており、今後設備投資できない中、顧客満足度をあげるのに別の経費(料理・人のサービス)をかける必要がますます高まるが、相変わらずテレビ中心で推移。

●運輸(タクシー)／人口比のタクシー台数が多く、規制緩和の影響で、今年度中に台数の見直しをする予定。

●運輸(トラック)／企業の設備投資は少々上向き、物量は多少持ち直した感があるが、値上がり傾向の燃料価格など不安定な要素が多く楽観は出来ない。

●美容業／低価格店の影響で客単価が低下している状況。競争が激しく、個人店・チェーン店とも撤退するところが出てきている。

●建設業(鉄構)／見積物件数は前月より多くなっているが、低価格で受注出来ず稼働率は相変わらず低調。

●設備工事(管設備)／公共工事の予算縮減などで、発注工事量及び工事設計金額が低下し、今年度は特に厳しいと予想。また、公共工事における随意契約件数の減少で先行不安。

●緩和の影響) 国土交通省からの指導で、今年度中に台数の見直しをする予定。

●運輸(トラック)／企業の設備投資は少々上向き、物量は多少持ち直した感があるが、値上がり傾向の燃料価格など不安定な要素が多く楽観は出来ない。

●美容業／低価格店の影響で客単価が低下している状況。競争が激しく、個人店・チェーン店とも撤退するところが出てきている。

## 業界の声

一般社団法人 山梨県農薬販売者協会

理事長 三枝

攻氏

### 農薬に対する正しい認識を！

現在の世情は、「農薬」というと、悪いイメージが先行しています。確かに、無農薬の農産物は「良いもの」なのかもしれません。しかし、果樹や野菜も人間と同様、病気にかかることもあります。どれだけの人間が薬に頼らず、人生を全うすることができるでしょうか。それと同様に、果樹や野菜も病気にかからず一生を全うするのは、ごくわずかなのです。そのため、農薬の役割は非常に大きなものとなっています。農薬は、いわば人間でいう「薬」であり、「植物医薬品」なのです。植物にとって農薬は、しっかりと成長していく上でなくてはならないものの「薬」なのです。

また、現在使用されている全ての農薬は、農薬取締法の厳正な法律の規制を受け、農林水産省、厚生労働省、環境省等の厳しい検査をクリアしたものです。人土壌、水、空気、それぞれへの害がないよう安全性の確保には十分注意されています。ゆえに、適正な使用さえ守れば、農薬は人間に使われる医薬品同様に安全性は高いのです。

### 当協会について

現在、当協会では、農薬の使用者及び農産物の消費者に対しての安全啓蒙活動を行っています。農薬の適正使用や農薬に関する正しい認識等を多くの方に理解して頂くため、様々なセミナーや研修会等を開催しています。また、より多くの農薬販売店に加入して頂き、適正な農薬使用に関する知識等も得てもらいたいと考えています。

私共の大きな願いは、「農業・農家の発展」です。農業が元気になる、農家の方には安定収入が得られるような環境づくりを促進し、山梨の農業の発展に貢献することが当協会の最大の目標です。是非、農薬の販売に携わる方々に当協会へ加入して頂き、共に農業の発展に協力して頂ければと思います。



研修会の様子



## 第58回ジェムストーンフェア in KOFU

ACTIVE KUMIAI

### 山梨県宝石研磨工業協同組合



商談を行う来場者

山梨県宝石研磨工業協同組合（水村勝理事長）は、7月8日・9日の両日、中巨摩郡昭和町のアピオにおいて、第58回ジェムストーンフェア in KOFUを開催した。

このフェアは、宝飾品の素材となる宝石・貴石等の研磨石製作者による展示会で、ジュエリーメーカーやデザイナーを対象に開催されている。今回は、組合員24社、協賛企業8社の32社が出展した。

ジェムストーンフェアは、研磨組合の組合員の販売促進を目的に、昭和55年9月の組合創立とともに、第1回研磨新作見本市を開催して以来30年が経過し、素材提供者の見本市として定着しており、県内外から多くの業界関係者を集めている。

山梨の研磨技術は、江戸時代からの水晶彫刻技術が発祥とされ、現在まで技術を積み重ねて成り立ってきた。この研磨技術に貴金属加工技術及び流通が一体となり宝飾品産地山梨が形成されている。しかし、昨今の景気低迷により、宝飾品の売上は減少しており、輸入製品との競争など、宝飾研磨業界もその影響を受けている。このような中で、今回の展示会は、減少傾向にあった来場者数、売上がともに昨年並みの結果となったことから、今後好転することが期待されている。



会場風景

## 第24回山梨県美容技術選手権大会を開催 研鑽を積んだ高度で斬新な技術を競う

ACTIVE KUMIAI

### 山梨県美容業生活衛生同業組合

山梨県美容業生活衛生同業組合（深澤仁理事長）は7月12日、甲府市の「かいてらす」（山梨県地場産業センター）において第24回山梨県美容技術選手権大会を開催した。

大会には、ワインディング、カット＆フロア、ヘアスタイル、留袖付、中振袖着付、洋装フレイズ、ネイル、フリースタイル（カット・アップ）競技の9種目に、約90人の美容師と美容専門学校生が参加した。

競技は、それぞれがエントリーした競技種目に出場し、制限時間内でファッション性や芸術性の調和、独自の創造性・感性などと合わせ、日頃から研鑽を重ねてきた技術を競い合った。

美容業界では、最新のファッションに敏感な顧客のニーズの多様化が進んでいるため、より高度で、顧客を満足させるための新しい技術の提供が、日々求められており、創造性と技能を備えた人材の育成が急務になっている。

組合では、美容師個々の技術向上はもとより、業界として次代を担う人材の養成等を強化しており、この競技



創造性と早さが競われるフリースタイル競技

大会を通じて、参加選手の中から将来、業界のリーダーとなり、活躍していく人材が育つことに期待を寄せている。

この大会は、第38回全日本美容技術選手権大会の山梨県予選を兼ねており、成績優秀者は、11月16日に岡山県で開催される、全日本美容技術選手権大会への出場権が与えられる。



最も多い選手が参加したワインディング競技

## 金融機関から見た融資のポイントとは？ 金融と経営に関する研修会を開催

ACTIVE KUMIAI

### 山梨飲食業協同組合



講演を行う㈱日本政策金融公庫 中村孝一課長

山梨飲食業協同組合（清水勝一理事長）は7月23日、昭和町商工会において「企業における金融と経営」をテーマに、講師として㈱日本政策金融公庫の中村孝一課長、寺見靖之主任、昭和町商工会の古屋修経営アドバイザーを招き、研修会を開催した。

初めに、「金融機関から見た融資のポイント」と題し、㈱日本政策金融公庫中村課長、寺見主任による講演が行われた。講演内容は、まず中村課長より、創業時における金融機関からの融資を例に挙げた、借入れの際の金融機関が注目するポイントについて説明が行われた。金融機関が貸し付けの際に注目するポイントとしては、①経営者としての能力とビジネスプランの的確性、②事業内容における市場ニーズと既存企業との競争力、③市場における情報収集能力、④資金計画の成功確立、⑤収支計画の実行性、とのことだった。最後に中村課長は、融資等についての不安や悩みがあれば、ぜひ気軽に当公庫にご連絡頂きたい、と述べた。続いて、寺見主任より飲食業関係を始めとする融資内容についての説明があった。寺見主任は、政府の経済対策により、融資における金利の引下げが行われているため、是非それらを活用した融資をご利用頂きたい、と述べた。

次に、「経営課題の解決に向けて」と題し、昭和町商工会古屋経営アドバイザーによる講演が行われた。講演内容は、昭和町商工会の事業活動の説明を通じ、昭和町商工会が行っている企業への支援事業等の活用を促した。古屋経営アドバイザーは、昭和町商工会では、企業が活用できる多種の企業支援を行っているため、経営上のご相談等があれば、ぜひ気軽に昭和町商工会まで声をかけて頂きたい、と述べた。最後に質疑応答が行われ、研修会に参加した組合員は積極的に質問を行い、金融や経営に関する情報を得ていた。



講演内容を熱心に聴く組合員



## 山梨県砂利組合連合会主催 『労働災害防止研修会』

ACTIVE KUMIAI



会長挨拶

去る6月26日(土)、県内の4つの協同組合(山梨県砂利協同組合、身延砂利協同組合、早川砂利協同組合、富士川中流砂利協同組合)で組織する「山梨県砂利組合連合会」(井上聡一郎会長)は、構成組合員約60名の参加の下、同連合会が事務所

を構える甲府市宝二丁目の山梨県農業共済会館内の研修室において、『労働災害防止研修会』を開催した。

研修会に先立ち、あいさつの中で井上会長は、スロ―ガンである「死亡災害の絶滅・重・軽傷災害の半減および労働保険料100%完納」を提唱し、労働災害の撲滅にあつての協力を呼びかけた。

同研修会では、労働安全コンサルタントの功刀能文氏を講師に迎え、県内外の労働災害の現状や労働災害防止対策についての講演が行われた。

功刀氏は、最近の事故事例をイラストにまとめわかりやすい説明によって紹介し、日ごろの作業習慣からの気のゆるみが災害を引き起こす最大の要因だと説き、毎日の作業に対する安全意識の喚起を呼びかけた。同研修会は、県内の砂利採取業者らの労働災害に対する強い関心から、独自の研修会開催をという強い要望により、毎年連合会主催で行っている。

参加した組合員は、「この研修会の意義を再認識するとともに労働災害の防止への取り組みに対して、常日頃からの意識を高めていきたい。」と語っていた。



研修会風景

●ものづくり補助金事業実施企業の活動紹介  
ただいま開発中!!

## 鉛フリーリフロー測定・観察装置の開発

会社の営業内容についてお聞かせ下さい。

当社では、製造業者が製品の品質検査等を行うための計測器等の製造販売を行っています。ひとりで計測器と言っても多種多様であり、当社が製造している計測器には、非接触タイプのレーザー変位計での応用製品をはじめとした自社製品と、お客様が求めている「イメージ」を「形」としたOEMタイプの計測器があります。

また、当社の経営理念は、計測器で世の中を「改善」することであり、お客様が必要としている高品質で使いやすい計測器を創造し、お客様の「問題解決」に貢献します。

### 抱えている問題点

2006年からEUで施行されたRoHS指令(鉛・カドミウム・6価クロム等の廃止)やJ・MOS(国内の家電製品やパソコンの有害物質に関する情報提供等の義務化)のため、電子業界では鉛フリーのハンダ付け(リフロー工程等)へと急速に移行しつつあります。

### 問題点の対処方法

リフロー工程(ハンダ付け工程)における平坦度測定・観察装置の試作開発を計画しています。これは加熱状態における電子部品や基板のそり測定及びハンダの濡れ性(密着性)をリアルタイムに測定及び観察できる装置の試作開発を行うものであり、電子部品や基板の温度形状特性

図1 鉛フリーリフローの基板・電子部品の反りとハンダの挙動(濡れ性)

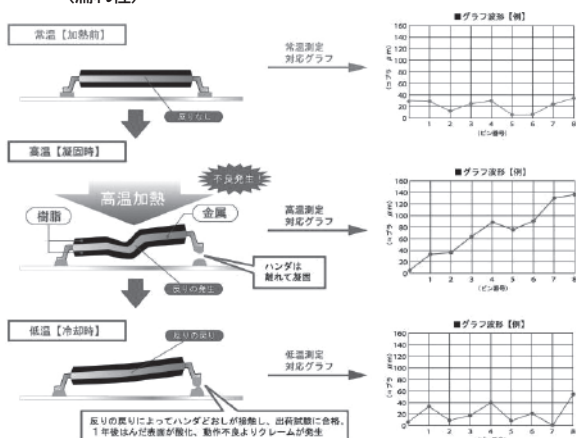
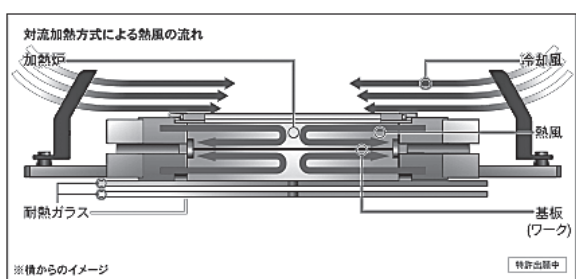


図2 対流加熱方式の制御方式開発



(株)コーズ プロジェクトマネージャー  
宮下 幸造 氏

①鉛フリーリフロー平坦度測定・外観同時観察装置の開発  
鉛フリーリフロー炉内における電子部品や基板のそりの測定を行なうと同時に、ハンダの挙動や濡れ性などをリアルタイムに外観観察を行える機能が付いた装置の開発を行います。これにより、基板・電子部品の反りとハンダの挙動(濡れ性)との関係が同時観察でき、より完璧な基板設計や条件設定が可能となります。

②平坦度測定の解析と観察画像が同時表示できるシステム開発  
基板の反りを3D化して表示する機能開発と観察画像を表示して、反り量と実際の挙動との関連を見ることができるよう機能を開発します。

また弊社独自のファイル形式「COR」形式の採用により撮影された静止画や動画に添付されている情報を、撮影後に任意で切り替える事が出来るようになります。

### ③対流加熱方式の制御方式開発(図2)

当社の開発した対流加熱方式は、左右4方向からの熱風により、ワークを上下左右から包み込むように加熱(特願2007-293979)し、広い観察領域の確保と炉内の安定した加熱環境を実現します。

上記の①③の開発については、若干の課題を抱えているものの、概ね達成しています。今後は、その課題を解決し、今年中には商品化していきたいと考えております。



山梨県中小企業労務改善団体連合会



あいさつする大宮山会長

去る7月29日（木）、山梨県中小企業労務改善団体連合会（大宮山磐会長）は、中小企業団体中央会研修室において、平成22年度通常総会を行った。

当連合会は、労務改善事業の推進と会員が行う事業の健全な発展と、労働者の経済的、社会的地位の向上を図ることを目的として、昭和51年に設立された。以降県からの中小企業福祉事業補助金を受け、職場環境や労務管理等の改善に関する実態調査の実施、各種セミナー・講演会、表彰式典・大会の開催、機関誌発行及び資料図書の配布による情報提供やアドバイザーを設置し、労働相談業務も積極的に実施してきた。

今回の総会では、22年度事業計画等が検討され、講演会・講習会・セミナーの開催や11月に開催する「活力ある職場づくり推進運動山梨県大会」の開催、連合会財政基盤強化のための共済業務提携事業の実施などについて決議した。

また22年度は、新たな事業として未就職者に職場体験をさせる「新卒者就職応援プロジェクトコーディネート事業」のコーディネーター機関として認定。会員企業の9社を選定、平成22年度3月に大学等を卒業した者で未就職者が未定の人を対象に、中小企業の仕事現場に触れる機会を通じ、企業で働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウを習得するための長期間（原則6ヶ月間）の職場実習（インターンシップ）を実施する。

なお、山梨県からの委託を受け「仕事と家庭の両立支援事業」を連合会の中心事業として引き続き実施することとなり、就業規則の整備、労務相談を中心に、講習会の開催と専門家の派遣による個別相談を行うことから、会員事業所への積極的な活用を呼び掛けた。



総会風景

22年度通常総会を開催  
就業規則整備支援の相談事業など事業計画を決議

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会



総会の出席者

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会（菅原五男会長）の平成22年度通常総会が、7月6日甲府市の「中央会研修室」で会員多数の出席のもと開催された。

総会では、菅原会長のあいさつ後、来賓として山梨県中小企業団体中央会の依田正司常務理事の祝辞があり、その後議案の審議に入った。

議案の審議では、平成21年度事業報告及び収支決算の承認、平成22年度事業計画及び収支予算の決定などが可決された。

本年度の事業計画としては、例年の事業のほか、協議会の組織・活動をPRする方法の検討、新規会員の加入促進、全員が参加できる事業の検討が盛り込まれ、組合事務局の資質の向上を目指した研修事業と会員相互の情報交流を中心に事業を展開していく。

なお、本年度は役員改選があり、次のとおり新役員が決定した。

| 新 役 員                            |                          |                         |                                                                                                                                             |
|----------------------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 監 事                              | 理 事                      | 副 会 長                   | 会 長                                                                                                                                         |
| 渡辺 長田 村上 堀内 深澤 坂本 小林 倉金 梶原 古屋 菅原 | 正 邦 登 勝 義 賢 守 生 修 安 清 五男 | 教 一 三 彦 夫 彦 博 二 生 修 清 郎 | 山梨県石油協同組合<br>山梨県印刷工業組合<br>山梨県印刷工業組合<br>山梨県印刷工業組合<br>山梨県印刷工業組合<br>山梨県印刷工業組合<br>山梨県印刷工業組合<br>山梨県印刷工業組合<br>山梨県印刷工業組合<br>山梨県印刷工業組合<br>山梨県印刷工業組合 |



あいさつする菅原会長

山梨県中小企業団体中央会女性部会

女性部会及び全国レディース中央会の通常総会開催



新しい執行部の皆様

新 任 役 員

|       |       |               |
|-------|-------|---------------|
| 名誉会長  | 深沢紗世子 | 山梨県トラック事業協同組合 |
| 会 長   | 矢澤ひろ子 | 山梨県食品工業団地協同組合 |
| 副 会 長 | 中野 豊子 | 山梨県認定美容師会     |
| 理 事   | 雨宮 諒子 | 山梨県認定美容師会     |
| 監 事   | 幡野みどり | 幡野運送(有)       |
| "     | 清水麻理子 | 山梨県食品工業団地協同組合 |

総会では、平成21年度の事業報告や今年度の事業計画等が決定された。

役員改選では、深澤紗世子前会長より矢澤ひろ子新会長に女性部のバトンが引き継がれたほか、新たに5名が新任された。

また、7月13日には、全国レディース中央会の平成22年度通常総会等が、全国中小企業団体中央会で開催され、事業報告並びに事業計画が承認決定された。重点事業として、9月28・29日東京都で開催される「全国レディース中央会フォーラム2010 in TOKYO」の概要や「組合女性部の活動事例集」の発行などが決定された。

続いて開催された活性化委員会では、中小企業庁の岸本課長を招き、施策等について説明がなされた後、意見交換が行われた。

全国レディース中央会の深澤副会長（山梨県）が、「景気が回復しつつあると言いが、全く実感できない。中小企業と一口で言っても企業格差が広がっている。中央会は、広がる企業格差を踏まえながら業界の活性化、発展に尽力している。もっと、支援の範囲を広げて頂けるようご検討頂きたい。」と、要望を述べた。



祝辞を述べる宮川名誉会長

中央会女性部会は、7月15日中巨摩郡昭和町「ティンカーベル」において宮川名誉会長の出席のもと、平成22年度の通常総会を開催した。

# 情報BOX

## 第62回中小企業団体全国大会(奈良大会)参加者募集

本年度の全国大会は、社会の主役である中小企業の発展に向けて、「新たな出発 未来を創る 団結の力!」をキャッチフレーズに、平城遷都1,300年祭が開催される奈良県(「なら100年会館」)において1,800名の参加者規模で開催されます。同大会の目的は、全国の中小企業団体の代表が一堂に会し、自らの決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の強化を訴え、組合等連携組織を通じた中小企業の成長、豊かな地域社会の実現を図ることです。

当会は、内藤悦次会長を団長に、11月17日から19日までの2泊3日の行程で参加します。参加者との交流を深めるとともに、中小企業の熱意を伝えるまたとない機会ですので、万障お繰り合わせの上、ぜひご参加ください。

**旅行日程** 平成22年11月17日(水)午前6時～19日(金)午後8時

**コース** **17日** ▶ 甲府昭和IC～宇治(昼食)・平等院鳳凰堂～薬師寺 等～飛鳥荘(宿泊)  
**18日** ▶ 飛鳥荘～全国大会・なら100年会館～奈良市内(昼食)～鳥羽シーサイドホテル(宿泊)  
**19日** ▶ ホテル～海産物のお買物～夫婦岩～伊勢神宮・おかげ横丁(昼食)～甲府昭和IC

**募集人員** 40名

## 朝日の昇らぬ夜はない。

私たちがトラックは、どんな状況下でも走り続けていられ、あつと明日が来ると信じています。

それは、国内輸送の分野以上を担っているという責任があるから、日本の経済と豊かな生活を支えているんだという自負があります。

だから、私たちが常に努力しています。安全に、確実にお客様を運ぶために、「事業用自動車安全プラン2009」など具体的な安全対策やコンプライアンス遵守を徹底。また、かけがえのない環境を未来に残すため「アイドリングストップ運動」や「低公害車の導入促進」などにも積極的に取り組んでいます。

しかし、世界的な不安による先の見えない困難の中に私たちもいます。原油高騰による燃料費の負担増に加え、雇用の急激な減少や、運賃の値下げ要請など、次々と押し寄せる困難は中小企業が多数を占めるトラック業界にとって、企業存続の危機を招くものとなっています。

それでも、私たちが走り続けるのは、みんなが運ばれば日本経済は立ち回れると信じているから。日本は元気になると信じているからです。必ず明日は来るから。

がんばれ日本!!

## 環境に優しいトラックが つなぐ人の輪 未来の輪

(平成21年度 環境標語 最優秀賞)



(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)  
 (社)全日本トラック協会  
 後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

## 明日を、かなえる。

みんなのために、ひとりのために

しんきん  
バンク  
Face to Face  
信用金庫

山梨信用金庫  
(055-235-0311)

甲府信用金庫  
(055-222-0231)

ATM  
全国19,900台

しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、平日・土曜のご利用手数料が無料で、ご利用できます。(一部対象外のATMがございます。)

## 「障害者雇用納付金制度」の 一部改正のお知らせ

事業主の皆さまへ

中小企業における障害者雇用の促進及び短時間労働に対する障害者のニーズへの対応などをねらいとして、「障害者の雇用の促進等に関する法律」の一部を改正する法律(平成20年法律第96号)が成立し、平成21年4月から段階的に施行されています。これに伴い、「障害者雇用納付金制度」の一部が次のように変わります。

### 平成22年7月1日から次の1から3までが施行されます。

この改正に係る納付金申告・調整金申請は、年度途中で事業を廃止した場合等を除き、平成23年度(対象期間:平成22年7月から平成23年3月まで)から開始されます。

1. 新たに、常用雇用労働者数201人以上300人以下のすべての中小企業に障害者雇用納付金の申告を行っていただくこととなりました。
2. 週20時間以上30時間未満の短時間労働者を労働者等に加えて納付金の申告等を行っていただくこととなりました。(労働者の数及び雇用障害者数ともに算入)
3. 除外率設定業種の除外率がそれぞれ10%ポイント引き下げられることになりました。

### 平成21年4月1日から次の4及び5が施行されました。

4. 企業グループ及び事業協同組合等に関する雇用率算定の特例が創設されました。
5. 親会社、特例子会社、関係子会社、事業協同組合等、特定事業主等が、調整金等を分割して受給できることになりました。

**問合せ先** 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構納付金部  
 URL <http://www.jeed.or.jp/>  
 〒105-0022 東京都港区海岸1-11-1 TEL.03-5400-1624

## 第11回「センターでバザール」

**開催日時** 平成22年9月11日(土) 午前9時～午後4時30分

**開催場所** 協同組合山梨県流通センター(中央市流通団地)

- 開催内容**
- バザールコーナー  
靴、スニーカー、パン、和洋菓子、バッグ、文具、傘、子供服等多数、アクセサリ通販のサン宝石も出店
  - 飲食コーナー  
やきそば、やきとり、かき氷、フランクフルト等
  - イベント  
・ご当地ヒーローショー「サクライザー」  
・中央市保育園マーチング  
・パペット人形劇 ・大ビンゴ大会  
・VF甲府サイン会(予定)  
・働く車大集合(パトカー、消防車、クレーン車等)
  - フリーマーケット

**お問い合わせ** 協同組合山梨県流通センター TEL055-273-4711(窪田)



# 県産品掘り起こし事業

●特産品チームによる企業訪問

本会の特産品市場開発チームは、平成21年度から「県産品掘り起こし事業」として、県産品を取り扱う本会傘下の組合等に所属する事業所を訪問して、情報収集を行っている。

21年度は91事業所を訪問し、406品目の商品の情報を「特産品取扱企業と商品リスト（取扱商品名、特徴、標準単価など）」として取りまとめた。

これらの情報は、商取引の拡大のために大口需

要者（スーパーや

デパート、問屋な

どのバイヤー等へ

必要に応じて提供

するとともに、デ

ータベース化する

ことによりホーム

ページの作成や生

産者商品カタログ

等の制作にも活用

する予定である。

本年度は、5月

より企業訪問を実

施しており、イベン

ト等で販売したも

のや新しく掘り起

こした商品（新商

品）の情報収集を

行っている。食品

100事業所、民・

工芸品50事業所の

商品情報を収集す

ることを目標とし

ている。

また、直接事業

所を訪問すること

は、生産者の声を

聞く良い機会であ

り、これらの声を

集約して今後の事

業に活かしていき

たいと考えている。

製造現場から商品の特徴を聞き取り

紅梅焼の製造工程をじかに見学

## 編集後記

先月閉会したサッカーのワールドカップ。試合の勝敗を見事的中させたタコ「パウルくん」に仕事のオファーが相次ぎ、まさに“引張り蛸”のようです。

さて、本業以外で話題に事欠かない最近の相撲界。もし相撲部屋にパウルくんがいたら、きっと片棒を担がされていたことでしょう。うみを出しきった日本の“国技”の復活を期待します。

●ご意見・ご要望は、  
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215  
FAX 055-237-3216  
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

## 平成22年度 やまなし産業大賞の募集

山梨県では、平成22年度のやまなし産業大賞の募集を行います。  
今回から、「ものづくり大賞」と「経営革新大賞」の2部門に分けて表彰します。自薦・他薦を問いませんので、ふるってご応募ください。

### 1 各部門の要件等

#### ■ものづくり大賞

- ・製品・部品・技術であって、新規性・独創性、技術的完成度、市場性、成長性などに優れた画期的なものが対象
- ・応募対象の開発・製造を行う活動拠点が県内に所在すること
- ・販売・提供開始後概ね5年を経過していないこと
- ・応募単位は、原則として企業となりますので、異なる製品等であってもものづくり大賞に同一企業が複数応募することはできません。

#### ■経営革新大賞

- ・卓越した経営の仕組みを有し実践している企業が対象
- ・従業員300人以上の大規模企業の部と、それ未満の中

小企業の部とに分け、それぞれに大賞

- ・県内に本社その他の事業所が所在すること
- ・日本経営品質賞のアセスメント基準に準じて経営品質の成熟度が高く、好業績をあげていること
- ・経営革新計画の承認を受けていなくても、応募できます。

### 2 応募期間

平成22年8月2日（月）～9月10日（金）

### 3 応募・問い合わせ先

山梨県庁  
産業支援課 技術・事業化支援担当  
TEL 055-223-1544 FAX 055-223-1534

山梨県中小企業団体中央会が推進する  
安い掛金で 大きな安心

## 自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえて万全の事故処理体制をとっています。万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決するまで協力します。

## 関東自動車共済協同組合

山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田 4-4-2 自動車共済ビル  
TEL 055-237-8331（代）

## 合同面接会参加企業募集中

（財）山梨県シルバー人材センターではシニアワークプログラム事業を実施し働く意欲のある高齢者の就職、就業支援をしています。

### 警備業務合同面接会

- 平成22年9月3日（金）
- 一宮町福祉センター



### ヘルパー2級課程合同面接会

- 平成22年10月8日（金）
- 山梨県立青少年センター



\*参加企業を募集しています。詳しくは下記までお問合せ下さい。

## シニア就業支援プログラム事業

55歳以上で雇用就業・社会参加を希望する高齢者に地域ネットワークと連携して支援します。

### シルバー人材センター連合会へ登録



企業・事業主

- ワークショップ（職場体験、ボランティア、シルバー就業体験等）
- 就業支援講座

| 日時                  | 会場               | 講座内容            |
|---------------------|------------------|-----------------|
| 8月30日（月）<br>13時30分～ | ホテル<br>クラウンパレス甲府 | 高齢者の<br>再就職に向けて |

\*詳しくは下記までお問合せ下さい。

## （社）山梨県シルバー人材センター連合会

〒400-0355 甲府市飯田3丁目3-28 Tel.055-228-8383